

平成30年度 施策評価シート（平成29年度実績評価）

政策 01 安全・安心に暮らせるまち
 施策 01 生活環境の保全
 主管課： 生活環境課
 関係課： 財政課、経済課、建設課、生涯学習課

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか）	意図（どのような状態にしたいのか）
市民、事業者、行政	快適な生活環境が守られ、環境にやさしいまちをつくる。

2 施策の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

良好な生活環境が保たれていると思う市民の割合 (％) 生活環境課					
基準値 (H26)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値 (H33)
78.80	77.50	79.90	80.00	80.00	80.00
向上指針	上がると良い	(状況) 良好な生活環境が保たれていると思う市民の割合は79.9%で、昨年度比2.4ポイント増加しました。基準値からは微減となりましたが、目標値との統計誤差の範囲内で推移しています。 (原因) アンケート結果を居住地区別に見ると、8地区中7地区で「思う」が75%を超えています。大野地区75.0%、大井沢地区73.9%と既存集落が比較的低い数値となっています。また、年代別に見ると、10歳代100%、20歳代86.7%に対し、65～69歳代76.9%、70歳以上74.2%と、若い世代で高く、高齢になると低下する傾向となっています。			
対前年度	横ばい				
目標達成度	高				
次年度課題	課題としない				

1 契約1月当たりの平均電気使用量 (Kwh) 生活環境課					
基準値 (H26)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値 (H33)
306.00	0.00	0.00	0.00	0.00	288.00
向上指針		※28年度4月より、電力自由化に伴い販売データの提供が東京電力より受けられなくなったため、指標値の取得ができなくなった。			
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

自然環境に満足している市民の割合 (％) 生活環境課					
基準値 (H26)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値 (H33)
79.30	78.80	79.20	79.50	80.00	81.00
向上指針	上がると良い	(状況) 自然環境に満足している市民の割合は79.2%で、前年度比0.4ポイント増となりました。基準値からは統計誤差内ではありますが微減となっています。 (原因) アンケート結果を居住地区別に見ると、大井沢(67.4%)を除く地域で「満足している」が概ね75%以上となっています。年齢別では、20歳代から40歳代で80%を超えています。斜面林等の保存緑地の取得など自然環境保全の取り組みが評価につながっているものと考えられます。			
対前年度	向上				
目標達成度	中				
次年度課題	課題とする				

3 施策に係るコスト（単位：千円）

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
	決算	決算	決算	予算	見込
事業費合計	90,857	45,220	43,904	42,605	45,575
人件費	0	16,540	18,692	0	0
トータルコスト	90,857	61,760	62,596	42,605	45,575

4 基本事業の状況

基本事業名称	成果指標の動向					事業費				
						H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
01 生活公害・産業公害の防止	低下	維持				48,149	44,194	43,488	42,146	45,116
02 地球温暖化対策の推進	横ば	向上				42,253	294	271	321	321
03 環境保全活動の推進	横ば	低下				94	124	58	116	116
99 施策の総合推進						361	608	87	22	22

5 施策全体の取組状況と課題

当該年度の全庁決定の方向性（前年度の全庁政策会議での決定事項）

<p>第2次守谷市環境基本計画に基づく市の取組状況や成果をまとめた環境報告書を作成・公表するほかSNS等を活用して環境活動情報を周知することで、市の自然環境・生活環境に関心を持ち、環境活動に参加する市民や事業者の増加に努めます。</p> <p>第3次守谷市役所地球温暖化防止実行計画を策定し、温室効果ガス排出量の削減に取り組んでいきます。</p>	成果方向性	向上
	コスト方向性	維持

前年度の実績内容、成果及び次年度以降に向けた課題

<p>第2次守谷市環境基本計画に基づき、市民、事業者へ環境活動の輪を広げるため、活動事例の紹介や参加を呼びかけるなどのきっかけ作りとともに、環境学習機会の創出に努めます。</p> <p>また、昨年度は、環境の保全に関する市民の自主的かつ積極的な行動が促進されるよう、環境の状況及び環境の保全に関して講じた施策に関する報告書を環境報告書として作成しホームページ等を利用し公表しております。</p>	推進状況	一部停滞あり
	次年度への課題	課題あり
	成果方向性	向上
	コスト方向性	維持

次年度の方針（当該年度の全庁政策会議での決定事項）

<p>環境活動に参加している市民や事業所の割合が停滞しているため、市広報紙・市HP・SNS等を活用して環境活動情報を周知することで、環境活動に参加する市民や事業者の増加に努める。</p> <p>市民生活総合支援アプリMorinfo等を活用し、市の自然や環境について周知することで、子どもたちに自然等について理解してもらおう取組を進める。</p>	成果方向性	向上
	コスト方向性	維持